


クラス	102	担当教員	か も ひろ やす 加 茂 浩 靖
			地域に学ぶ地域経済学
		著書・論文 研究課題等	「大都市圏における介護サービス業に従事する女性の仕事と生活－名古屋市を事例として－」『日本福祉大学経済論集』2011年。 「工業地域における製造派遣への労働力供給－西三河地域の場合－」『日本福祉大学経済論集』2012年。 『女性就業と生活空間－仕事・子育て・ライフコース』（共著）明石書店2012年。 『人文地理学事典』（共著）丸善出版2013年。

ゼミナール概要

キーワード：地域経済、地理学、フィールドワーク

1. 目標

このゼミの目標は、地域経済学の考え方や分析方法を基礎にして、地元知多半島や国内外の各地域を事例にした調査実習を体験し、問題発見・問題分析・問題解決の思考方法を身につけることにあります。

地域経済の実情を身をもって体験するのがこのゼミの特徴です。このため、フィールドワークによる資料収集やコンピュータを用いたデータ分析を行いません。フィールドに出て苦しいこと楽しいこといろいろ経験しますが、がんばれば社会に出ても通用する調査研究能力が身につきます。

2. 内容

日本の観光地の中には、観光客が訪れず閑散とした地域がある一方で、国内のみならず海外からも多くの観光客を集めている地域もあります。このように経済の状況は地域により様々です。またスーパーマーケットでは地元で作られない珍しい食品を見かけることがあります。すなわち、たちの生活はその地域だけで成立しているのではなく、様々な地域との結びつきの中で成立しています。「経済活動に地域差がなぜ生じるのか」、「身近な地域で販売されている食品がどこから調達されているのか」、こうした疑問に答えるのが地域経済学の課題の1つです。この課題を解決するためには、地域経済に関連する理論を学び、それを現実経済に当てはめて考えること、そして実際に現場へ足を運び、そこで得た情報や関係者から聞いた情報等をもとに、実態を明らかにすることが大切です。このゼミでは地域経済に関する理論を学び、確かな問題意識のもとに実証分析を行ない、解決策を検討します。

なお、卒業論文では自分の関心に基づいて幅広い分野からテーマを選ぶことができます。一例をあげると「地場産業を生かした観光振興」、「名古屋市における総合型地域スポーツクラブの発展」、「地理情報システム（GIS）を用いた公共施設の適正配置分析」等です。

3. 授業の進め方

2年次：

テキストを用いた専門分野の学習

コンピュータを用いた統計資料分析、分析結果のグラフ化・地図化・プレゼンテーション

3年次：

地域調査研究、地域調査実習（事前の準備演習を十分に行なった後、学外へ出かけて地域調査を実施します）

4. 履修上のお願い

- (1) フィールドワーク、合宿等に参加できること。
- (2) 企業や行政機関等を訪問する際に、服装、言葉づかい等をきちんとできること。
- (3) 共同学習や共同研究を行う際に、周囲の人たちと協力ができ、また礼儀正しく接することができること。
- (4) コンピュータの技術を修得するために時間をかけることができること。

5. その他

地元のことを深く知りたい人、地方公務員などの地域との関わりが強い職をめざしている人、アウトドアが好きな人、旅行が好きな人等にはこのゼミをおすすめします。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
授業で指示します。	研究室訪問はオフィスアワー以外でも可能です。希望日時を知らせてください。